Sewing Recipe

SINGER

入園・入学 GOODSレシピ

～シューズバッグの基本的な作り方～

レシピの後半に簡単なシューズバッグのアレンジ方法を紹介しています♪

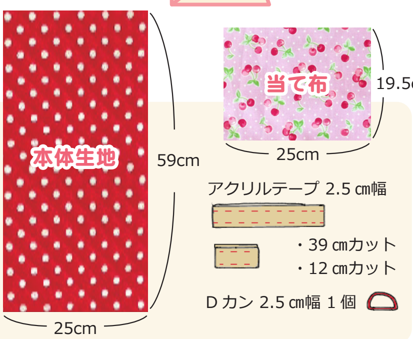
My original shoes bag

材　料

基 本 編

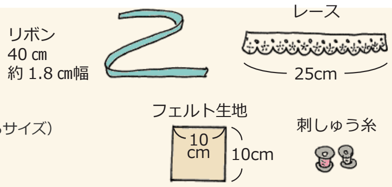
本体生地（キルティング）	たて 59cm× 幅 25cm
当て布 (下部部分)	たて 19.5cm× 幅 25cm
アクリルテープ	2.5 cm幅 39 cmと 12 cm
D カン	2.5 cm幅･･･ 1 個

※ 縫い代込みのサイズ



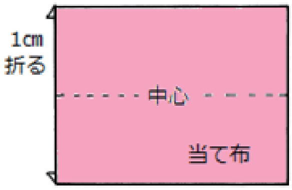
アレンジ編

リボン	約 1.8 cm幅 ×40 cm
レース	25 cm
フェルト生地	たて 10 cm × 幅 10 cm以上 (刺しゅう枠に入るサイズ)
刺しゅう糸	

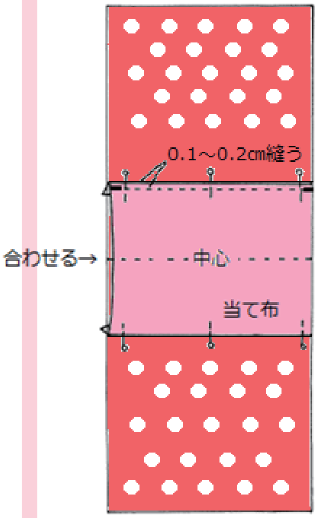


作 り 方
基 本 編

1 当て布の上下の布端 1cm を裏側に折る。



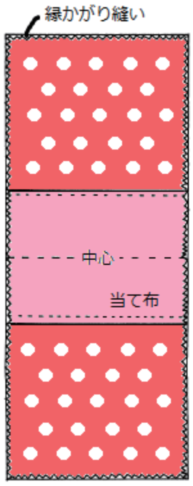
2 本体の中心と下部分の中心を合わせる。
下部分の端 0.1 ～ 0.2cm を直線縫いで縫う。縫い始め、
縫い終わりは返し縫い又は止め縫いをする。



ONE POINT

当て布をつける時にレースも一緒に縫い付けるとかわいく、端の始末もきれいに仕上がります！
レースの変わりにチロリアンテープをつけてもアクセントになりますよ。

3 布端がほつれないように、ジグザグ縫い又は縁かがり縫いでかがる。

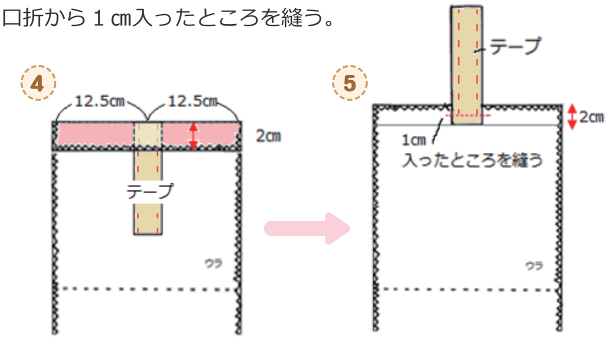


ONE POINT

本体生地が平らな状態の時にアップリケやリボンをつけるとさらに華やかな仕上がりに。
詳しくは後半のページへ

4 2 cm幅に口折りを折る。（アイロンを使用するとキレイに折れます）
中央にテープを挟み口折り奥まで差し込む。

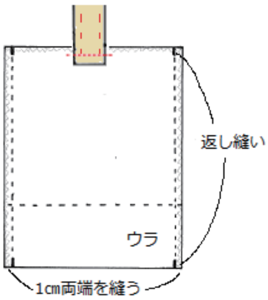
5 クリップでテープ位置を固定し、口折りを広げ、
口折から 1 cm入ったところを縫う。



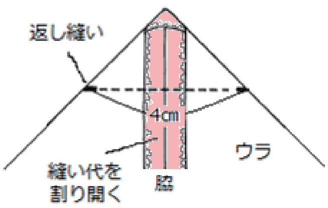
次のページに続きます

※レシピ・画像の無断転用はご容赦願います
Copyright (c) HappyJapan Inc. All Rights Reserved.

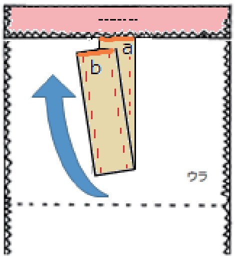
6 生地を中表にして半分に折り、④で折った口折りは開き、
両端１cmを直線で縫う。
縫い始めと縫い終わりは返し縫いまたは止め縫いをする。



7 底線と脇を合わせ４cmの底マチをつくる。
脇の縫い代は割り開く。
縫い始めと縫い終わりは返し縫いまたは止め縫いをする。

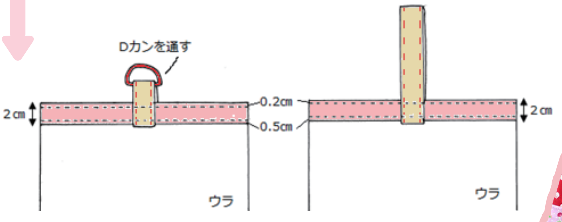


8 ④で折った口折りを戻し、テープの端を口折りのかがり部分に当てて、
縫い止めているテープと揃える。（⑧のオレンジ部分ａとｂを合わせる）
テープを重ねた状態で真上に折りクリップで止める。
短いテープにはＤカンを通す。



ONE POINT
クリップを使用すると厚みのあるテープも
簡単に固定できるのでオススメです。

9 口折り上部は 0.2 cm、下部は 0.5 cm入ったところをテープと
一緒に一周縫い完成させる。

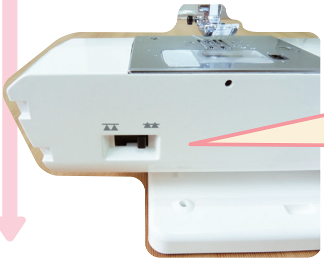


※完成画像（基本）

作り方 アレンジ編

基本編③でのリボンの簡単な付け方やアップリケについて紹介します。

1 送り歯を下げ、布を送らないようにする。
（送り歯が下がらないミシンは針板カバーで送り歯を隠す）



ONE POINT
ドロップフィードレバーが
あればレバーの位置を変える
だけで簡単に送り歯を下げる
ことができます。

2 生地にマチ針でリボンを固定する。ミシンにセットし、
押えを下げたらマチ針は外す。

3 縫いパターンの“ジグザグ縫い”を選ぶ。
10 回ほど針を往復させたらリボン付けは完成！

ミシンは SC131DXEを使用

4 コンパクト刺しゅう機でフェルト生地に刺しゅうをする。

5 刺しゅうが終わり、フェルト生地をたて５cm × 幅６cmの
大きさにカットする。

6 ミシンの“アップリケ縫い”で周りを一周縫いつけ完成！

ONE POINT
厚みのあるフェルト生地は
布端の始末がいらないので
アップリケに最適です。
縫い糸を目立つ色にすると
アクセントになります。

※完成画像（アレンジ）

リボンとアップリケで
かわいくなりました♪
シューズのワンポイント
刺しゅうはお子様にも
わかりやすい目印になります。

※レシピ・画像の無断転用はご容赦願います
Copyright (c) HappyJapan Inc. All Rights Reserved.